

研究会資料

Summary. NAKAHARA, Jun

Wenger, E. (1998) Communities of Practice Cambridge University Press, MA Chapter4 Boundary pp103

- 119

0 . Summary

実践 = 共有された学習の歴史

歴史は、参加している者と非参加している者の不連続性 (discontinuity) をつくる
不連続性は、ある実践のコミュニティから他にわたりあるく学習者によって顕在化される

しかし、実践は何も不連続性 = Boundary だけをつくるわけではない

実践は、あるコミュニティの他へのつながりを発達させる

(制度的提携がコミュニティ間の連続、非連続を決めているわけではない。つまりは、
そうした制度的提携が境界を決定しているわけではない。)

実践コミュニティは他から孤立しているわけではなく、関係しあっている

Enterprise も相互にむすびついている。

メンバーや人工物も孤立しているわけではない

ある実践への Engagement は、他のものへの Engagement をともなう

参加や具現化は社会的連続性、不連続性の資源である。それらは境界を越えた連続性をつくりだす

不連続性

実践と具現化は境界による不連続性をつくりだす

実践のコミュニティの境界は、メンバーシップをあらわす明示的なマーカー
(Marker) によって、具現化される。ex. 入れ墨

ジャーゴンやニュアンスも、うちと外の境界を可視化する

しかし、同時に参加や具現化は境界をわたった連続性をつくりだす

Twotype of connection

1 . Boundary object

人工物、ドキュメント、コトバ、コンセプトなど

Star, L による造語「 Boundary Object」は、Constituency(様々なメンバー) の
Perspective を協調させる役割をもつもののこと

ex. クレーム処理係にとって、クレームフォームはクレーム処理というタ
スクと他の世界をつなぐ役割をもっている

人工物をデザインすることは、Boundary Object をデザインすること

コンピュータのデザイナーは、モノの「使用」をデザインしているのではなく、ある実践コミュニティのユーザの参加をデザインしているとも言える

2 . Brokering

ある実践を解釈し、他につたえる人々によって創られるつながり

Broker は実践のコミュニティ間に新しいつながりを創造し、新しい意味の創造をコーディネーションする可能性をもっている

Import - export にすぐれ、実践のコミュニティのコアに赴くよりは、コミュニティの境界あたりをぶらつく

Fullmember にもならない、Intruder にもならない

Membership について注意深く Manage する必要があり、常に異なった Perspective を持たねばならぬ

曖昧な Multi-membership を必要とする

JunComment

なんと素敵な生き方！

Brokering のタスクは、意味の翻訳や、様々な人々の Perspective の協調や提携を含む複雑な過程である。

Boundary Encounters & The Negotiation of meaning

Boundary Encounters

会議、会話、訪問など

1. Oneto one conversation (private conversation)
2. immersion(浸透)= one wayconnection
3. delegation(委任・派遣) =twowayconnection

Practice as connection (実践がどうやってつながりをつくるのか？)

実践は、その境界を3つの次元において明示化する

1. 参加者は身近な関係を持続させ、他に特有なかかわりかたを行う
それ故に、アウトサイダーは参入できない
2. 参加者は自分の枠に従って、コミュニティを複雑に詳細に理解する。
それ故に、アウトサイダーは共有できない
3. 参加者はアウトサイダーが理解不能なレパートリーを発展させる
境界は外部者のためにあるのではなく、内部が内部を自己規定するために存在する

実践は一緒に何かをする事柄をつくりだす、という利点をもつ

1. 相互の関わりを持続すると、関係がうまれる
2. つながりが持続すると、それは Enterprise の一部になる
3. レパートリーが境界の一部になり、メンバーに共有される
意味とパースペクティブの交渉の可能性 = 同じ実践に参加する
Connection ができる

歴史が堆積する

実践それ自体が Connection を生み出す (Practice-based connection) のは以下の 3 つによる

1. Boundary Practice

相互のかかわりのためのフォーラム

Task Force, executive committees, cross-functional team

2. Overlaps

コミュニティ周辺部での活動を必要としない

2 つの実践の重なりが起きている場合

3. Peripheries (周辺)

コミュニティ周辺部が他に開けている場合。観察。

Boundary & Peripheraries

Boundary

- ・うちとそとをわける、メンバーと非メンバーをわける

Peripheraries

- ・新しい参加者、アウトサイダーに開かれている

Boundary と Peripheraries は相互により合わさっている